

「緑のカーテン作り方講座」を開催しました



平成24年4月26日、高松市環境保全推進課の藤嶋さんを講師に迎え、「緑のカーテン作り方講座」を開催しました。

「緑のカーテン」とは、ゴーヤやアサガオなどのつる性植物を使って建物の窓を覆うことで、夏の強い日差しを和らげると同時に葉から出る水蒸気でまわりの温度を下げる自然のカーテンのことです。

講座の前半は、緑のカーテンの作り方や効果、栽培に適した土や肥料の選び方などの話をしてくださいました。緑のカーテンには、次のような効果があるようです。

- ・ エアコンの使用頻度が減るので、省エネ効果がある。
- ・ 省エネ効果でCO2を削減し、地球温暖化に貢献できる。
- ・ 日差しを遮るだけでなく葉から蒸散するので、日差しを遮るだけの簾よりも涼しくなる。
- ・ 花を見て楽しんだり、作物を収穫して食べたりすることができる。

後半は、第2回たかまつ緑のカーテン・コンテスト 家庭部門で香川県造園事業協同組合賞を受賞した森西茂さんが、緑のカーテンを作るにあたって、工夫した点や苦労した点を話してくださいました。

受講された方は95名と大変多く、みなさん熱心に話を聞かれていました。「以前緑のカーテン作りに挑戦をしたけれどうまくいかなかった」「水やりや追肥の事をくわしく知りたい」など、積極的に質問をしている方もいらっしゃいました。

今回の講座では、受講者に1本ずつゴーヤの苗がプレゼントされました。「今日はゴーヤの苗をいただいたので、早速土作りから始めて、ゴーヤの苗を植えたいです。」と、みなさんおっしゃっていました。

高松市環境保全推進課では、今年度も家庭、事業所、学校・保育所、公共施設等で取り組まれている「緑のカーテン」を募集し、優れた取組みを表彰する「緑のカーテン・コンテスト」を開催するそうです。「たくさんの応募をお待ちしています。」とのことでした。

